

## &lt; 運営推進会議における評価\_様式例 &gt; ※公表用

## 【事業所概要】

法人名	(株)クロス・サービス	事業所名	ほのかのぬくもり
所在地	(〒790-0095) 愛媛県松山市朝生田町七丁目13-28		

## 【事業所の特徴、特に力を入れている点】

- ・相談窓口として機能できるよう、どんな病態の方にもまずは相談にのっている。
- ・ご利用者、一人一人の現状に合わせた支援ができるようにしている。
- ・ぬくもりという名前にあるように、職員だけではなくご本人・ご家族相互で関係が深まりホッとできるような雰囲気作りを心掛けている。

## 【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2021年 12月21日	従業者等自己評価 実施人数	( 9 ) 人	※管理者を含む
----------------	-----------------	------------------	---------	---------

## 【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦2021年12月21日(会議開催) 4月、6月、8月、10月(中止)書面 西暦2022年2月(中止)書面	出席人数(合計)	( 11 ) 人	※自事業所職員を含む
出席者(内訳)	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員(2人) <input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員(1人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員(1人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の代表者(2人) <input type="checkbox"/> 利用者(人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族(人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者(人) <input type="checkbox"/> その他(5人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	災害避難訓練を様々なパターンを想定して取り組んでいく。	夜間想定の大規模避難訓練は夜勤者全員参加し、日中想定の大規模避難訓練はリーダーが各職員に指示を出しながらチームで動き、消防立ち合いのもと大規模通報を実施した。 新型コロナウイルス感染症発生時のBCPの策定をしている。	避難訓練については良く取り組んでいると評価します。 新型コロナウイルス感染症発生時のBCPについては早急に策定し全職員が共有できるよう適切な対応に努めて下さい。	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	モニタリングなどで、スマートホンを利用して様々な情報を収集しもって準備が出来るパンフレットやチラシ等で利用者、家族に補足説明ができるよう工夫してみる。	利用者の状態変化により自宅で使用する福祉用具の見直しについてはパンフレットやスマートホンで利用者・家族に補足説明をした。 ご自宅での生活やご家族の支援にはあまり目が向けられていない職員もいる。	職員の経験年数や意識の違いも影響しているかとは思いますが。職員間での温度差を感じます。情報の共有等、職員間での意思統一の必要性を感じます。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	他の法人との連携をとり、運営推進会議に参加し、同じ看多機での課題や対策など情報交換し、利用者のためのサポートに必要なサービスの提供ができる。	コロナ禍以前では他の看多機との連携（運営推進会議に参加など）ができていたがコロナ禍から全く出来ていない。	電話連絡や、落ち着いたら運営推進会議に参加するなど管理者だけでなく介護支援専門員も行動に移していく。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	「何でも相談室&もったいない市」の内容を深める。	コロナ禍で開催は出来なかった。 昨年度に引き続いて保育園児へのクリスマスプレゼントは玄関先で園児達に渡す事ができ大変喜ばれた。感染対策の徹底を行い今後も継続して交流を深めていきたい。	引き続き花壇の草引き等、事業所として可能な啓発活動を実施すれば良いと思います、 現在中止している活動は、状況が落ち着き次第、再開に努めて下さい。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	認知症、身体拘束・虐待、感染症の研修は必須で、それら以外でも専門的な研修、ケアの質の向上を図る研修・勉強会に今後も取り組んでいく。	ミーティング等で計画目標の見直しや達成、提案、意見などグループワークで話し合っ、次に活かせるよう情報共有している。	必須項目の研修については参加状況を確認しながら全員受講できるように取り組んでいる。 情報共有できているか振り返りが必要。	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<p>火災避難訓練については良く取り組んでいると評価します。</p> <p>新型コロナウイルス感染症発生時の BCP については早急に策定し全職員が共有できるよう適切な対応に努めて下さい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症発生時の BCP を策定する。</p> <p>シミュレーションを実施し、職員への周知と課題を洗いだせるよう取り組む。</p>	
II. サービス提供等の評価	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<p>ご自宅での生活やご家族の支援(24 時間の切れ目ない支援)にはあまり目が向けられていない職員もいる。</p> <p>職員の経験年数や意識の違いもあり、職員間での温度差を感じる。情報の共有等、職員間での意思統一の必要性を感じる。</p>	<p>家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントができる。</p> <p>介護支援専門員の毎月のモニタリングを職員間で情報共有する。</p> <p>介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせを通じて、両職種で共有していく。</p>
	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<p>電話連絡や、感染状況が落ち着いたら運営推進会議に参加するなど、管理者だけでなく介護支援専門員も行動に移していく。</p>	<p>他の法人との連携をとり、運営推進会議に参加し、同じ看多機での課題や対策など情報交換し、利用者のためのサポートに必要なサービスの提供ができる。</p>
	<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)</p>	<p>引き続き花壇の草引き等、事業所として可能な啓発活動を実施すれば良いと思う。</p> <p>現在中止している活動は、状況が落ち着き次第、再開に努めて下さい。</p>	<p>引き続き花壇の草引き等、事業所として可能な啓発活動を実施していく。</p>
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<p>必須項目の研修については参加状況を確認しながら全員受講できるように取り組んでいる。</p> <p>利用者ごとの計画目標の情報共有できているか振り返りが必要。</p>	<p>ミーティング等で計画目標の見直しや達成、提案、意見などグループワークで話し合い、次に活かせるよう情報共有していく。</p>	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
<b>I 事業運営の評価 [適切な事業運営]</b>							
<b>(1) 理念等の明確化</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている		○			<p>良し。 取り組み内容に問題はないと思います。</p>	<p>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</p> <p>✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「およそできている」もしくは「あまりできていない」</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している			○		<p>十分理解できない職員に対するマニュアルの作成はできているか？</p> <p>職員間で温度差があるため、情報の共有等、職員の間での意思統一の必要性を感じます。</p>	<p>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>
<b>(2) 人材の育成</b>							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している			○		自己評価表を作成したらどうか。自己申告で本人の評価ができるのではないかと。取り組み内容は概ね良好と思われるが、適切な対応の必要性を感じます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</li> <li>✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</li> <li>✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</li> </ul>
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		○			技術向上の為に外部研修を受ける必要があり、リモート研修をできるだけ受講してもらったらどうか。取り組み内容は概ね良好と思われます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します</li> </ul>
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている		○			以前にも問題になったが、大分改善されたと聞く。完全ではないが目的意識を持って頑張ってください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」など</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		送りで伝えている。職員の勤務帯によつては、すぐに情報共有できなかつたりはするが、個別記録やカードックスに落としている。 月1回のミーティングのあり方を見直し、職員間で各利用者のケアプランの見直しやこういう支援はどうだろうか、もっとこうした方がいいのか等話し合いの場を作っている。				取り組み内容等に問題はないと思います。	が考えられます
<b>(3) 組織体制の構築</b>							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	○				数年前の運営推進会議で公園の草引き等してみたら？という地域の方の声を、現在も継続されているのがすばらしいと思います。	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b> 公園の花壇の草引きや花植えには継続して行えており、地域の方とのあいさつもしている。					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		○			絶えず、働きやすい環境に留意されたし。 取り組み内容等に問題はないと思います。	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」な
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b> 職員の休み希望を受け入れ、なるべく時間外労働にならないようシフト作成している。定期的に職員との面談を入れている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
		<p>るが、それ以外にも必要時には面談を行い精神的な負担の軽減にも努めている。職員の気持ちもよく聞きシフトに反映している。</p> <p>職員本人が希望する働き方（常勤だが子供が小さく夜勤と遅出を免除、送迎や訪問免除等）をできるだけ聞き入れ、チームでフォローし合う体制ができている。</p>					<p>どが考えられます</p>
<b>(4) 情報提供・共有のための基盤整備</b>							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている		○			<p>以前見せていただいた限りあまり問題なかったと思います。</p>	<p>✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します</p>
<b>(5) 安全管理の徹底</b>							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられて		○			<p>よく取り組んでいると認識しています。</p> <p>取り組み内容等に問題はないと思います。</p>	<p>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	いる	職員に共有し、同じ事が起こらないよう 努め、ミーティングで先月起きた事故の 対策が妥当か検討を行っている。 年1回の安全運転同乗（課長が同乗）し て運転マナーを確認している。 年1回、朝生田拠点での防犯訓練をして いる。					対策」、「交通安全」、「夜間訪問時 の防犯対策」、「個人情報保護」な どが考えられます
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時において も、サービス提供が継続で きるよう、職員、利用者、関 係機関の間で、具体的な対 応方針が共有されている			○		災害について良く取り組んで いると評価します。 早急に策定し、全職員が共有 できるよう適切な対応に努め て下さい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時におけるサービス提供 のための備え」について、充足度 を評価します</li> <li>✓ 例えば、「安否確認方法の明確 化」、「連絡先リストの作成」、「医 療材料などの確保」、「災害時ケア のマニュアル化」などが考えられ ます</li> </ul>
<b>Ⅱ サービス提供等の評価</b>							
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>							
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>							
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況 や家族等介護者の状況等を 含む、利用者等の24時間の 暮らし全体に着目したアセ		○			他項目でも、職員間での差 (経験年数や意識の違いも 影響しているかとは思いま すが)があると思います。今	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等も含めた24時間の暮ら し全体に着目したアセスメント」 の充足度を評価します</li> <li>✓ ケアが包括的に提供される看護</li> </ul>



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	メントが行われている					後どのようにその差を縮められるか、いい方法があれば教えていただきたいです。職員間での温度差を感じます。情報の共有等、職員間での意思統一の必要性を感じます。	小規模多機能型居宅介護においては、家族等を含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている		○			コミュニケーションが良くできている。 取り組み内容等に問題はないと思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます</li> </ul>
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている			○		より家族に会う努力をされたし。 職員間での温度差を感じます、 情報の共有等、職員間での意思統一の必要性を感じます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		○			<p>良し。 取り組み内容等に問題はないと思います。</p> <p><b>[具体的な状況・取組内容]</b> リハビリのご希望があるご利用者には、リハビリが定期的な訓練を行っている。またご利用者の残存機能がどの程度かを職員間で共有し、どこまでを支援し、どこからかをご利用者自身にさせていただくか、リハビリ職員も含め定期的に検討している。</p>	<p>✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます</p>
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている		○			<p>良し。 取り組み内容等に問題はないと思います。</p> <p><b>[具体的な状況・取組内容]</b> リスクマネジメント力に個人差はあるが、情報共有している。 毎月主治医に提出する看護計画書はリスクを踏まえて作成している。</p>	<p>✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です</p>
<b>(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践</b>							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期	○				<p>良くできていると思います。 取り組み内容等に問題はないと思います。</p> <p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p>	<p>✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ できて いる	あまり できて いない	全く できて いない		
	に把握し、計画への適宜反映が行われている	状態変化により訪問看護を入れたり、状態が安定すれば訪問介護に切り替えたりと、適宜計画へ反映している。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している		○			<p>R3. 4・5月「ク」「ソ」 R3. 6・7月「ク」「セ」 R3. 8・9月の「カ」「ス」の方の通い・泊まりに偏っている理由を教えてください。</p>	<p>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</p>
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている		○			<p>問題なしと聞いています。取り組み内容等に問題はないと思います。</p>	<p>✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	○				介護職不足の中でよく頑張っています。しかし看護職に余分に無理のいかない様に配慮願いたい。 取り組み内容等に問題はないと思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です</li> </ul>
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	○				問題なしと聞いている。 取り組み内容等に問題はないと思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します</li> </ul>
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予		○			情報の共有化が図られていると思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」につ</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	測・心身の機能の維持回復 などの観点から、情報提供 や提案等を行っている	[具体的な状況・取組内容] 申し送りやミーティングでご利用者の病 状の情報提供や提案等を発信している。				取り組み内容等に問題はない と思います。	いて、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、 看護職の専門性を活かした役割 の1つとして期待されます
<b>(4)利用者等との情報及び意識の共有</b>							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴 等について、分かりやすく 説明し、利用者等の理解を 得ている		○			書面による説明がされてい るか、メモ書きでも良い。 説明の均一化が必要。人によ って内容が違ってはいけな い。 取り組み内容等に問題はない と思います。	✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅 での療養生活の継続に向け て留意すべき点等につい て、分かりやすく説明し、利		○			問題ないと思います。	✓ 「利用者等の理解」について、充 足度を評価します
		[具体的な状況・取組内容] 在宅での療養生活の継続に向けて留意す					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	利用者等の理解を得ている	る点等についてご家族にも説明し理解を得ている。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	○				一緒にケアを行う。問題ないと思います。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している		○			より家族との連絡を密にお願いしたい。本人と家族のより満足がほしい。 取り組み内容等に問題はないと思います。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている		○			文書作成にぬかりなく、念押しを忘れずに。 取り組み内容等に問題はないと思います。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまりで きてい ない	全く でき てい ない		
		書にて共有している。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している			○		取り組み内容等に問題はないと思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」</li> </ul>
<b>2. 多機関・多職種との連携</b>							
<b>(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供</b>							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援して		○			<p>良くできている。さらなる努力を。</p> <p>取り組み内容等に問題はないと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「退院・退所前のカンフ</li> </ul>
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b>					
		担当医からご本人、ご家族へ説明できる場を設けて、必要時看護師より追加説明を行っている。また、その内容を記録として残している。1例看取りをした方で主治医からも適宜病状の説明を行い、それ以外でも変化があるごとに看護師からご家族へ説明していたが、亡くなられた後に、ご家族が納得できていないケースがあった。より丁寧な説明およびその際のご家族の理解度の確認をしっかりと行っていくよう反省した。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	いる					用後も2週間～1ヶ月後の様子を病院 地域連携室へ電話連絡するようにして いる。また、毎月主治医へ看護計画・看 護報告書を提出している。病院入院や施 設入所された場合には看護要約を医療 機関や施設へ提出し情報共有している。	アレンスへの参加]、「利用者等に 係る病院・施設等との継続した情 報共有」などの取組が考えられま す
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、 緊急時の対応方針等を、主 治医等と相談・共有するこ とができている		○			良く出来ています。 取り組み内容等に問題はな いと思います。  [具体的な状況・取組内容] 緊急時の対応等については、事前にご本 人・ご家族の意向を聞き取った上で、主 治医と対応策を相談・共有している。	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医 等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者 の状況の変化など、実際に発生す る前の段階から予め対応方針等 を主治医等と相談・共有しておく ことが重要です
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携 により、休日夜間等を含め て、すべての利用者につい て、急変時に即座に対応可 能な体制が構築されている		○			良く出来ています。 取り組み内容等に問題はな いと思います。  [具体的な状況・取組内容] 夜間電話当番の看護師が連絡受け訪問 できており、主治医に報告、必要時往診 または救急病院搬送などそれぞれの対 応をしている。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構 築」について、充足度を評価しま す



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(2) 多職種との連携体制の構築</b>							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	○				ミスも隠さず報告されて改善策も次回に反映されています。評価します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します</li> <li>✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」</li> <li>✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です</li> </ul>
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>							
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			かわら版も写真を多く掲載され家族に安心を与えていると思います。また、医療関係の記事を掲載され医療的レベルの高さを証明しています。早急に適切な対応を行ってください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「誰でも見ることが方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている		○			<p>残念ながら新型コロナの関係もあるが町内行事もない為活動不足になっています。かわら版を町内の役員その他に積極的な配布をおすすめします。</p> <p>引き続き花壇の草引き等、事業所として可能な啓発活動を実施すれば良いと思います、</p> <p>現在中止している活動は、状況が落ち着き次第、再開に努めて下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です</li> <li>✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。</li> <li>✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます</li> </ul>
<b>(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している				○	<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>同一建物2階に訪問看護ステーションが別にあるため、看護小規模では、今のところ登録者以外の方を対象とした訪問看護は行っていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください</li> <li>✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
							「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	○				評価します。 取り組み内容等に問題はないと思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		○			他に働きかけたらどうか。 取り組み内容等に問題はないと思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	おおよそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	○				評価します。 取り組み内容等に問題はないと思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
<b>(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している		○				<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」</li> </ul>
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に	○					<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」につ</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 可能な限り松山市全域でサービス提供できるようにしており、特定の集合住宅等のご利用者はいない。				それで良いと思います。特定の集合住宅等の利用は人的に無理があります。 取組み内容等に問題はないと思います。	いて、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		○			公園の草引きや花苗植えを通してどのように関係者等への積極的な課題提起や改善策の検討等が行われているのか教えていただきたいです。  花壇に表札を立てて下さい。  取組み内容等に問題はないと思います。	✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている		○			<p>交流を図るべく取り組みは評価します。地区の高齢者にかわら版を配布したら良いと思う。最初は配るだけ。2～3回してから話しかけをする。挨拶からスタートしてみる。</p> <p>取り組み内容等に問題はないと思います。</p>	<p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
		<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>ご高齢の独居の方で、定期的にその地区の民生委員さんが月1回安否確認に訪問される日にごあいさつして看多機の説明をさせてもらった。また、組は違うがお隣の組長さんとの交流（煮魚をいただいたり）もあると伺ったので組長さんに挨拶と説明に行った。その後、ご利用者の訪問宅でコウモリが家の中に入り、お隣の組長さんに助けを求め、退治して下さった。特別な取り組みはしていないが、特に独居の方はその地区の民生委員さんへ挨拶に行っている。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
<b>Ⅲ 結果評価</b>				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ミーティング等で計画目標の見直しや達成、提案、意見などグループワークで話し合っ、次に活かせるよう情報共有している。		✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	① ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 夜間は電話当番看護師が電話対応や訪問看護に入り対応している。また、退院後や体調変化など、通いのみではなく宿泊も利用して状態観察するなど柔軟な対応		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		ができ、在宅での療養生活の継続に対する安心感を得られている。		
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>①. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>今年度は、1名自宅で、2名事業所内で看取りをした。コロナ禍で入院していたら頻回な面会は厳しいかと思うが、状態変化の度にご家族に連絡を入れ面会に来ていただいたり、最期はご家族1名泊まっていたいただいたりと、最期のお別れが3名とも叶えられた。</p>		<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>